

# 日本特別ニーズ教育学会 2018年度中間集会

## 今年は何度も大阪へ

日本特別ニーズ教育学会2018年度中間集会を大阪市内で開催します。11月17・18日に大阪体育大学(熊取学舎)で開催する第24回研究大会もあわせて、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

日本特別ニーズ教育学会2018年度中間集会・第24回研究大会(大阪大会)  
大会実行委員長 後上 鐵夫(大阪体育大学)

**日時** 2018年6月3日(日) 12:00~16:40

**会場**

大阪体育大学同窓会館アネックス  
〒530-0043 大阪市北区天満3丁目10-16

**プログラム**

10:00~11:55 【理事会・編集委員会】

11:30 受付開始

12:00~14:00 【理事会企画:若手チャレンジ研究会】

初の若手企画として「若手チャレンジ研究会」を開催。研究歴がまだ浅い方々のチャレンジを応援する企画です。発表題目は学会HPへ。

14:10~16:40 【実行委員会企画:シンポジウム】

子どもの発達支援ニーズをどのように受け止め、支えていくのか  
—支援が届きにくい子ども・保護者と特別ニーズ教育の課題—

**参加料金**

会員・非会員 1,000円(事前申込なし、当日支払)

\*非会員の参加も大歓迎です。



## プログラム

### 【理事会企画：若手チャレンジ研究会】

2018年度の日本特別ニーズ教育学会（SNE学会）中間集会では、初の若手企画として「若手チャレンジ研究会」を開催します。

若手会員等による研究発表（卒業論文・修士論文・博士論文等の研究デザイン発表、卒業論文・修士論文の発表、『SNEジャーナル』投稿や本大会研究発表を計画中の研究の発表等）を行い、それぞれの研究を更に深めていく・進めていくために有効な議論の場にしていきたいという想いのもとに、理事会が企画しました。研究歴がまだ浅い方々のチャレンジを応援する企画です。ぜひ皆様の積極的なご参加をお待ちしています。（非会員の参加も歓迎します）

### 【実行委員会企画：シンポジウム】

#### 子どもの発達支援ニーズをどのように受け止め、支えていくのか —支援が届きにくい子ども・保護者と特別ニーズ教育の課題—

現代の急激な社会構造の変化、家庭の経済的格差や養育困難の拡大のなかで、不安・緊張・恐怖・ストレス等が複雑に絡み合い、自律神経失調症・心身症、抑うつ・自殺、不登校・ひきこもり・中途退学などの心身の発達困難、いじめ・暴力・被虐待、触法・非行などの多様な不適応を有する子どもへの支援が喫緊の課題となっています。そして、これらの課題は決して特殊ではなく、子ども全体の問題としてとらえることや「子どもの育ちと発達の貧困」の解消が第一義的な課題となっています。

子どもたちの置かれている状況は様々ですが、子ども・若者が多層的な発達困難に追い込まれていく現状のなかで、とくに障害の診断はないものの支援が必要な子ども、家庭の養育環境が不安定な子ども、児童養護施設等入所の子どもの、非行・触法等の課題がある子ども、外国にルーツのある子ども、保護者が疾病・障害等を有している子どもなど、通常学級を中心とした「支援が届きにくい子どもや保護者」から、その「子どもの発達支援ニーズをどのように受け止め、支えていくのか」を、学校教育と他領域の協働の視点から議論したく、本シンポジウムを企画しました。日頃の教育実践や家庭・保護者・地域とのかかわりについて、子どもや保護者のリアルな声・姿をもとに考えます。

司 会	学会副代表理事・東京学芸大学教授 加瀬進氏
話題提供	大阪市立南港桜小学校校長 市場達朗氏（映画「みんなの学校」の舞台：市立大空小学校前校長） 岸和田市立山直北小学校教諭 田中元氏 ピア・サポートセンター代表 森定薫氏
指定討論	大阪教育大学教育心理科学講座教授 新崎国広氏

なお、本シンポジウムの第2弾を11月17・18日に大阪体育大学（熊取学舎）で開催する第24回研究大会にて行います。詳細は後日、学会ウェブサイトに掲載します。

## アクセス

### 大阪体育大学 同窓会館アネックス

〒530-0043 大阪市北区天満3丁目10-16

- 大阪メトロ  
谷町線・堺筋線 南森町駅より徒歩8分
- JR東西線 大阪天満宮駅より徒歩6分
- 大阪（梅田）駅よりタクシー約16分



## お問合せ

### ◎実行委員会事務局

立命館大学 産業社会学部 田部絢子研究室

〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1

TEL: 075-466-3230 (研究室直通) メール taikai@sne-japan.net

\*ご連絡はできる限りメールでお願いいたします。